

# 釜ヶ崎解放

1980  
金曜日  
5月2日

〒557 大阪市西成区萩之茶屋2丁目5-23  
釜ヶ崎解放会館内  
釜ヶ崎日雇労働組合  
電話 06-632-4273

権力の妨害をはねのけて回釜メーデーを  
断固貫徹！

## 本日5回賃金斗争議団会議

## トスラ夫出し「神明」を許すな

市民館

仲く仲固たち！

昨日の夜に回釜メーデーは、80名の仲間で決起し、最後まで隊列を止断せず、決然と斗い抜いた。

釜の隊列は、メーデーつぶしをねらってなされる、府警・西成署の弾圧細心の中心をはねのけ、三角公園の集会、センターまでのデモ、中央メーデーへの決起、港南コースのデモを最後まで断固貫徹し、斗い釜ヶ崎労作者の勇気を示した。

この釜日下の旗の下で斗いぬいたメーデーは、これまで資本家奴才と身体をはって斗ってきた釜ヶ崎のメーデー、メーデーの伝統をうけつぐものであり、釜メーデーを、ちろちろん行進、に低める曲成分会メーデーとは、はるかにそのちろちろんを思いつけた。

仲固たち

われわれは、メーデー回釜メーデーで、更進して、メーデーの、なにより

労作者の団結と階級性を裏切り、労作者の魂を敵に売り渡し、帝国内義戦争へとなりたてこいく、労作者族、どう幹じもの右翼的労作者運動とまっぴり一線を画し、今こそ釜ヶ崎で真に階級的な日雇労作者の運動と斗いをきずきあげていくことである。  
仲固たち共に斗おう。

4月26日、府警、西成署の暴力弾圧をものともせず、4500名の決起による大衆交で、岡田組、湯葉建設をつるしあげ、5千円台の単価を回復したため、労作者の斗いは今、ロセンターから六千五百円未満のデタオ単価回復の女の斗いえ歩を進めている。ロセンターから6500の未満をたたきだせローこの獲得目標を鮮明にかなや、岡田、湯葉につくかえ弾の斗いとこのぞんた、4月30日の日神明と国交の場に、当の日神明上業ははごころ、われわれの前から、